

4) 結果・考察

フッ化物配合・非配合歯磨剤のフッ化物測定実習

年 月 日

No. Name

1. 本実習の目的を述べなさい。

2. 結果を述べなさい。

	フッ化物配合 歯磨剤 A	フッ化物配合 歯磨剤 B	非フッ化物配合 歯磨剤 C	非フッ化物配合 歯磨剤 D	その他 ()
商品名					
フッ化物 イオン (ppm)	+ ± - ()	+ ± - ()	+ ± - ()	+ ± - ()	+ ± - ()

3. 本実習から何が考察できるか。

(1) 結果

フッ化物イオン濃度を測定したら、一覧表に記入する。

(2) 考察

① フッ化物配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度はどのくらいか。

② フッ化物配合歯磨剤、非フッ化物配合歯磨剤の違いは何か。

ヒント：①医薬品医療機器等法による基準値、

②医薬品医療機器等法による分類。

note 7

幼児のフッ化物配合歯磨剤の指導

フッ化物配合歯磨剤の予防効果を十分に発揮させるためには、適正な量（表）の歯磨剤を用いて、2～3分間の歯磨きを行うことが重要です。歯磨き後の洗口は1回のみで、その後、1～2時間は飲食を控えます。洗口ができない0～2歳では、保護者が仕上げ磨き時に用います。

- 1) フッ化物応用研究会編：う蝕予防のためのフッ化物配合歯磨剤応用マニュアル。社会保険研究所，東京，2007。
- 2) 日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編：フッ化物応用の科学。口腔保健協会，東京，2011，84～92，111～120。

表 フッ化物配合歯磨剤の年齢別応用量^{1,2)}

年齢	使用量	歯磨剤のF濃度	洗口その他の注意事項
6カ月（歯の萌出）～2歳	切った爪程度の少量	500 ppm （泡状歯磨剤であれば1,000 ppm）	仕上げ磨き時に保護者が行う
3～5歳	5 mm 以下	500 ppm （泡状またはMFP歯磨剤であれば1,000 ppm）	就寝前が効果的 歯磨き後5～10 mLの水で1回のみ洗口

注：使用量はペースト状の歯磨剤を想定したものである。